

科目	声楽表現	単位数	2	学年	3	学級	A~H 選択者	学科	普通科 国際教養科
----	------	-----	---	----	---	----	------------	----	--------------

学習の到達目標	<p>○姿勢や呼吸法、発声や共鳴など、声楽の基本的な技術を習得します。</p> <p>○曲の背景、詩の情景等にも理解を深め、音楽性豊かな表現ができることを目指します。</p> <p>○西洋音楽、日本音楽、民族音楽、ポピュラー音楽等、様々なジャンルの曲を体験し、多様多様な音楽を幅広くとらえることができるようにします。</p>
使用教科書 副教材等	○音楽 I Tutti (教育出版)

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	○授業ガイダンス	声楽表現の学習内容、授業の受け方、評価方法を理解します。
	5	○発声法	姿勢・呼吸法・腹筋の使い方・息の流れ・良いフォーム・口の形など、発声の基本を学び、響きのある良い声を目指していきます。
	6		
	7	○声楽練習曲	日本の歌、イタリア歌曲等の独唱曲の中で、正確に歌える技術を習得し、譜面上より作曲者の意図する音楽を理解し、深みのある歌唱法へとつなげていきます。
	8		
後期	9	○独唱曲	独唱曲・デュエット曲の歌唱を通じて、強弱の変化や音色の変化等をつけることにより、豊かな表現ができるようになることを目指します。
		○デュエット曲	
	10	○発声法	前期に学んだ発声法をさらに追求し、自分の声を良く聴く力を身に付け、発声の基本を習得していきます。
	11		
	12	○声楽練習曲	楽譜を読む力もさらに身に付け、声楽練習曲においても難易度の高い曲に挑戦していきます。
		○独唱曲	ミュージカルのソロ・ナンバーの歌唱を通じて、ストーリーや背景等も理解しながら、奥深い表現のできる歌唱法を身に付けていきます。
		○合唱曲	合唱を通じて、自分がただ声を出すだけではなく、他声部と自分の声部との音程やバランスを感じ取りながら、ハーモニーを作っていくスキルを身につけます。
	1	○自由発表	1年間の総仕上げとして、習得した発声や表現の技術を生かしながら、個人またはグループで発表します。
	2		
	3		

評価の観点及び評価の方法	音楽への関心・意欲・態度	○音楽を様々な観点から捉え、興味関心を高めているか。
	音楽表現の創意工夫	○楽曲・音楽ジャンルの特質を良く知覚した上で、それが生み出す曲想や美しさを感じ取って表現の工夫をしているか。
	音楽表現の技能	○楽曲から感じ取ったイメージを創造的に表現する技能を身に付けているか。
	鑑賞の能力	○鑑賞教材の演奏法、文化的背景を理解し楽曲を聴き取っているか。
	評価方法	○授業中の参加態度 ○プリント、ノート、レポート等の提出状況及び内容 ○出欠状況や遅刻・忘れ物状況 ○楽譜の管理状況 ○実技テスト

担当教諭から	自分の体が楽器となる声楽。どのポジションで、どのフォームで声を出すと、最善の歌声になるのか、しっかりと身に付け、自分自身での研究、努力も怠らないように授業に臨んでください。自己表現が大事な授業展開となっていくしますので、1時間1時間積極的な態度で臨んでいきましょう。そして、曲や詩に隠された背景、情景を探索しながら、心ある表現のできる歌を追い求めていって欲しいと思います。
--------	--